



エースホーム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：竹田善明）は、このたび二世帯住宅「アンディ・ディオ」を開発し、平成 23 年 7 月 7 日(木)より発売いたします。

東日本大震災後に増加している二世帯住宅のニーズに応えるべく開発いたしました。エースホームでは初の二世帯ニーズ向け商品でもあり、エリア限定とせず、全国の加盟店を通じて一斉に販売開始いたします。



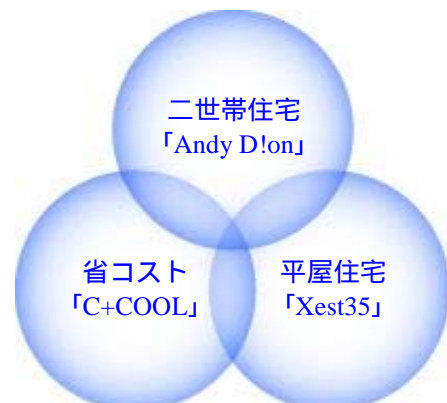
新たな住宅商品を投じて復興支援をしたいという気持ちを開発の原動力としながら、震災を機に家族の在り様を見つめ直したのは被災に遭われた方だけでなくと捉え、先 10 年の市場変化にも対応できるように、昨今の同居に対する価値観や世帯構造の変化、面積縮小化などを反映した新しい二世帯住宅です。

主な特徴は—————

震災により故郷を離れざるを得ない、子供たちの住む町に身を寄せたい、そんな突発的であるけれども確固とした心情で、別々だった親子世帯が新しい土地で一つの家族として生きる決断をされた方へ、一緒に居るからこそその安心や豊かさを尊重していける住まいです。

特に若い子世代である程、義理の親子関係としての期間は短く、気兼ねが生じ易いことに配慮して、玄関・キッチン・バスなどの生活機能の多くを共有する“融合同居型”を提案いたします。機能を別々に設けずに済むことにより建築コストの低減を図り、販売価格 1,597 万円（税込）からのお求めやすい価格帯とし、発売時すぐの急迫したご要望にもお応えできるように基本提案 10 プラン（施工床面積 139 m²～167 m²）を用意いたしました。

エースホームではこの新商品「アンディ・ディオ」を筆頭に、既発売のコンパクト二階建て住宅「シータス・クール」とコンパクト平屋建て住宅「ゼスト 35」を復興支援向け商品の三本柱と位置付け、拡販を行って参ります。それぞれの商品特長を活かしたご提案をますます強化することにより、お客様の様々なご意向やご事情に幅広くお応えできるものと考えています。



快適に共有するための工夫と、お互いの居場所を創出する心配り

子一人・片親同居などによる世帯構成の少数化や、狭小面積傾向にある今の住宅事情を踏まえ、コンパクト二世帯住宅（施工床面積 42.05 坪～50.44 坪）とし、限られた敷地や予算を考慮しています。その結果、各部屋が狭くなりがちとなる分離同居型ではなく、合理的なスペースの確保ができる融合同居型をベースにしてプランニングいたしました。



生活機能を共有することは家族間交流の機会を増やすことではあるものの、二世帯同居においては、お互いへの心遣いからくる気兼ねや遠慮などを引き起こしてしまう要因にもなりかねません。その点「アンディ・ディオン」では、食事を中心とした家族団らんのシーンを核に据え、家族の生活リズムの相違を上手く解消する機能分離の発想や、1階と2階にそれぞれの居場所の創出する「デュアル・リビング」。さらに、アウトドアに開けた憩いの空間「ラナイ」など、快適性を重視した工夫を随所に盛り込んでいます。

住まいの中心にダイニングを配置

みんなで一緒に食事をするを家族のルールにしてほしい。大家族でも食事を通じてコミュニケーションを深め合えるよう、暮らしの中核に家族の集えるダイニングを提案します。

洗面/リネン室を分離することで、浴室シェアの発想

洗面コーナーとリネン室（脱衣）がひと続きであると、誰かの入浴時は洗面への立ち入りやしにくくなりますが、分離することにより、そうした気遣いや待ち時間も無くなります。

1階と2階にそれぞれの居場所を創る「デュアル・リビング」

1階と2階の両方にリビングを設けることで、親夫婦/子夫婦のプライベートな居場所として過ごしたり、大家族の男性陣/女性陣が分かれてそれぞれ趣味の時間を楽しんだりできます。

屋根のあるアウトドアリビング「ラナイ」

2階リビングの続きのインナーバルコニーを、陽や風を感じるゆとりあるアウトドアリビングとして、1つの部屋のように考えます。テーブルと椅子のセットがあって、のんびりとしたひと時を演出します。

ラナイとはハワイ語で大型バルコニーのこと



大家族に対応する収納の充実と工夫

玄関からキッチンまでの動線上にパントリー & 大型土間収納（床下/土間収納使いが可能な「2ウェイ土間」）や階段下収納、子世帯専用の洗濯室にもアレンジ可能なストレージなど、1階・2階ともに大収納を確保しています。

玄関から延びる複数の動線

玄関は1つでも「2ウェイ土間」を挟んだキッチンまでの動線、親世帯の寝室に直結する動線、1階に物音を立てずに2階へと行き来する階段への動線など、家族の出入りの状況に合わせて使い分けられるようにしています。

親世帯の高齢化にともなう、バリアフリーにも細やかに配慮しています。親世帯の主寝室は1階リビングに連続するように配置し、将来在宅介護が必要となった場合にも主寝室+リビングという拡張に対応。親世帯が利用する主要通路の建具は全て引戸にすると共に、各所に手摺りを配置するなど、住宅金融支援機構のフラット35基準以上を備えました。エースホームでは全棟「長期優良住宅」仕様+省令準耐火構造を標準化しており、住宅金融支援機構のフラット35S（20年金利引下げタイプ）にも適応させ、ご家族がいつまでも安心して暮らしていくことができます。

「Andy D!on」商品概要

商品名	「Andy D!on（アンディ・ディオ）」
発売日	平成23年7月7日
構造	木造軸組金具工法
プラン	基本提案10プラン システムフリー設計対応
参考価格	基本本体価格1,753万円（本リリース紹介プラン） 施工床面積47.34坪プロトタイプ・一般積雪地・省エネ 地域仕様
販売地域	全国（北海道、沖縄および離島、一部地域は除く）
販売目標	初年度100棟

お問い合わせ先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-5 ホンダビル4階

エースホーム株式会社 取締役 企画開発本部長 佐藤直敬

企画開発本部 営業企画部 金森剛史

TEL 03-5292-2611

本リリースで使用した外観・内観の画像データをご用意しています。
必要な場合には kanamorit@acehome.co.jp までご連絡ください。

ホームページアドレス <http://www.acehome.co.jp>